

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
空知	砂川市	東豊沼地区	平成27年度	平成29年度	砂川市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		農産物の高付加価値化(米の販売単価の向上)	米の販売単価266円/kgの向上を目標としており、昨年度からも単価は向上(R1.235円/kg→R2.241円/kg)しているものの、目標販売単価の達成に必要な栽培・技術管理に至らず未達成となった。(達成率24.2%)	今後も農協、農業改良普及センターの指導等を受け、目標を達成実現するため、栽培・管理技術の向上等を行い、令和2年度の目標達成を目指す。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	1経営体のうち目標達成はなし。(達成率0%) 未達成になったのは1経営体における米の販売単価の向上が目標達成に至らなかったことによる。	今後も、農協、農業改良普及センターの指導等を受けて、目標の達成を実現するため、栽培・管理技術の向上等を行い、令和2年度の目標達成を目指す。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 市全体として、農業者の高齢化問題による、今後の担い手不足が懸念される。今後も、継続して農地集積や新規就農者の受け入れを図り、担い手不足を解消する。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 1と同様に高齢化による中心経営体の不足も懸念される。今後は、集落営農や新規就農者の育成を図り、中心経営体を強化する。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 令和元年度に実質化され、今後の担い手の現状を定めており、地区の将来像を地区全体で再認識する契機となった。今後も市全体の現況を踏まえて、年に1度人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者への対応等について 未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえ、JA、農業改良普及センター等の関係者と密に情報共有を行う。</p>
--

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。